

研究タイトル	若者と地域ボランティアをつなぐマッチングアルゴリズムの最適化
要旨	<p>本研究は、若者と地域ボランティア団体のマッチング問題において、どのようなアルゴリズムが最も望ましい結果をもたらすかを明らかにすることを目的とした。Gale-Shapley アルゴリズム(GS)、Max-Weight マッチング(MW)、および両者の特性を踏まえて設計した制限付き Max-Weight(制限 MW)の 3 手法を用い、若者の人数や団体の定員を変化させたシミュレーション実験を行った。分析の結果、GS は安定性、MW は満足度に優れる一方、制限 MW は両者のバランスを取る手法であることが示された。本研究の結果から、マッチングの条件に応じて適切な手法を選択することの重要性が確認され、地域ボランティア活動をより円滑に運営するための一つの判断材料を提示できたといえる。</p>